

平成23年度予算の概要

平成23年度の状況

平成23年度は、大学機能の九段集約および両附属高等学校の改革を推進し、附属沼南高等学校は「附属柏高等学校」に校名変更し、柏キャンパスに附属柏中学校を設置・開設する。事業計画は、「21世紀の二松学舎像を策定する新マスタープラン」に従って大学の教育・研究活動の推進、両附属高等学校の教育方法の見直し、学生・生徒募集体制および就職・キャリア教育の充実など学生の入口・出口対策の強化と広報体制の見直し、キャンパス整備、組織の効率化、財務改革等を段階的に推進する。

キャンパス整備については、大学機能の九段集約化に対応するため、隣地ビルの賃借と併せて図書館閲覧席・学生居住スペース・講師室の拡充や情報センターおよび国際交流センターの移転など九段キャンパスの整備が必要となる。また、柏キャンパスにおいては、図書館書庫の増設や跡地利用方法を検討し校舎整備を計画立てて実施する。

収支については、附属柏中学校の開設にあたり学納金収入が増加となる。一方、人件費および教育研究経費並びに管理経費が発生する。私立学校への経常費補助金は減額傾向にあり、資金運用収入は環境の低迷から増加が見込めない状況にある。また、大学機能の九段集約に伴うキャンパス整備の実施により、各種経費（減価償却額を含む）が発生する。

平成22年度に大学経常費補助金が不交付となることにより支払資金が約2億8千万円減少する。この影響は平成23年度にも及び、収支状況は極めて厳しいものが予想され、更に事務系システムの更新を控えており、今後長期に亘り多額の支出が続くことが見込まれるため、不要・不急の支出は極力制限していくことが必要である。

大学九段集約に向けた事務組織の見直し、事務の効率化を図りつつ教職員の定員制の遵守により人件費の削減を図るほか、事業会社（二松学舎サービス）の活用や経費全般の見直しを行うことにより収支改善を図ることを平成23年度の予算編成方針とした。

平成23年度の収支状況

1. 消費収支予算書について(別表5)

(1) 消費収入の部について

- ① 収入の柱である学生生徒等納付金は、37億9千7百万円となる見込みである。
- ② 手数料は、入学検定料を主として1億2千7百万円を見込んでいる。
- ③ 補助金は、大学及び両附属高等学校および柏中学校とも経常費補助金を主な収入として見込んでおり8億2千万円を計上している。
- ④ 資産運用収入は、安全性に配慮した資産運用を行い、8千7百万円を見込んでいる。
- ⑤ 雑収入は、退職金団体からの交付金9千7百万円と併せて1億2千6百万円を見込んでいる。
- ⑥ 基本金組入額は、施設・設備の整備及び教具・器具・備品の取得などにより、5億1千7百

万円を計上している。

(2) 消費支出の部について

- ① 人件費は、27 億 5 千 1 百万円(前年度比 4 千 8 百万円増加)となる見込みである。
- ② 教育研究経費は、施設設備の整備、情報システム関連経費、本学所蔵資料及び紀要のデジタル化ほか特別事業費および減価償却額などにより、14 億 5 千 6 百万円を計上している。
- ③ 管理経費は、教育研究経費と同様に施設・設備の維持管理費と事務システム関連経費のほか特別事業費および減価償却額などにより、4 億 6 百万円を見込んでいます。

これらの結果、帰属収入は 49 億 8 千 5 百万円、基本金 5 億 1 千 7 百万円組入後の消費収入合計は 44 億 6 千 8 百万円、消費支出合計は 46 億 5 千 9 百万円となり、1 億 9 千万円の消費支出超過となる見込みである。

2. 資金収支予算書について(別表6)

収入の部は、寄付金収入、資産運用収入の減少、借入金等収入の減少、退職金団体交付金を含む雑収入などにより、当年度収入額は 57 億 9 千 6 百万円となり、前年度繰越支払資金 26 億 5 千 2 百万円と合わせて収入額合計は 84 億 4 千 8 百万円となる見込みである。

支出の部は、施設設備整備費支出の減少等により当年度支出額は約 53 億円となり、次年度繰越支払資金は 31 億 4 千 8 百万円となる見込みであり、収入・支出とも前年度に比べて減少となる見込みである。

別表5 消費収支予算書

(単位:百万円)

科 目	平成23年度 予 算	平成22年度 実 績	増 減
消費収入の部			
学生生徒等納付金	3,797	3,745	52
手数料	127	118	9
寄付金	26	73	△ 48
補助金	820	565	256
資産運用収入	87	108	△ 22
資産売却差額	0	9	△ 9
事業収入	2	3	△ 0
雑収入	126	131	△ 5
帰属収入合計	4,985	4,752	233
基本金組入額合計	△ 517	△ 404	△ 113
消費収入の部合計	4,468	4,348	121
消費支出の部			
人件費	2,751	2,703	48
教育研究経費	1,456	1,381	75
管理経費	406	374	32
借入金等利息	44	40	5
資産処分差額	0	315	△ 315
徴収不能額等	1	10	△ 9
消費支出の部合計	4,659	4,823	△ 164
当年度消費支出超過額	△ 190	△ 475	285
前年度繰越消費収入超過額	907	1,382	△ 475
翌年度繰越消費収入超過額	717	907	△ 190

注) 金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

別表6 資金収支予算書

(単位:百万円)

科 目	平成23年度 予 算	平成22年度 実 績	増 減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	3,797	3,745	52
手数料収入	127	118	9
寄付金収入	24	52	△ 27
補助金収入	820	565	256
資産運用収入	87	108	△ 22
資産売却収入	204	1,344	△ 1,140
事業収入	2	3	△ 0
雑収入	126	131	△ 5
借入金等収入	2	501	△ 499
前受金収入	861	705	155
その他の収入	771	772	△ 0
資金収入調整勘定	△ 1,026	△ 1,042	15
当年度資金収入合計	5,796	7,001	△ 1,205
前年度繰越支払資金	2,652	2,156	497
収入の部合計	8,448	9,156	△ 708
支出の部			
人件費支出	2,778	2,747	31
教育研究経費支出	906	878	28
管理経費支出	379	347	32
借入金等利息支出	44	40	5
借入金等返済支出	250	250	△ 0
施設関係支出	1	707	△ 706
設備関係支出	210	149	61
資産運用支出	458	308	149
その他の支出	640	1,629	△ 989
資金支出調整勘定	△ 365	△ 551	186
当年度資金支出合計	5,300	6,504	△ 1,204
次年度繰越支払資金	3,148	2,652	496
支出の部合計	8,448	9,156	△ 708